

製品名: DKK1 (7G7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10002**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	DKK1
別名	SK; DKK-1; Dickkopf-related protein 1; Dickkopf-1; hDkk-1; Dickkopf homolog 1;
遺伝子 ID	22943.0
SwissProt ID	O94907
免疫原	ヒト DKK1 の合成ペプチド

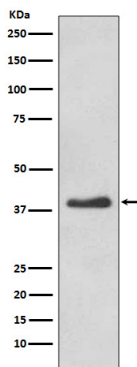
背景

DKK1: dickkopf ホモログ 1 (アフリカツメガエル)、別名 SK。Entrez Protein NP_036374。DKK1 は dickkopf ファミリーのメンバーです。2つのシステインリッチ領域を持つ分泌タンパク質であり、WNT シグナル伝達経路の阻害を介して胚発生に関与しています。多発性骨髄腫患者では、骨髄血漿および末梢血中の DKK1 濃度の上昇が骨溶解性骨病変の存在と関連しています。DKK1 は、LRP5/6 と Wnt の相互作用を阻害し、LRP5/6 の内在化を促進する膜貫通タンパク質 KREMEN と三量体複合体を形成することで、標準的な Wnt シグナル伝達に拮抗します (PubMed:22000856)。DKK は脊椎動物の発生において重要な役割を果たし、Wnt シグナル伝達経路によって制御される前後軸パターン形成、四肢発生、体節形成、眼形成などのプロセスを局所的に阻害します。成体では、DKK は骨形成、骨疾患、がん、アルツハイマー病に関与することが示唆されています (PubMed:17143291)。KREMEN1 のアポトーシス誘導機能を Wnt 非依存的に阻害し、抗アポトーシス活性を有します (類似性による)。

研究分野

WNT;WNT-T細胞

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の DKK1 発現のウェスタン プロット分析。